

学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名称：日本学術会議主催学術フォーラム「高レベル放射性廃棄物の処分を巡って」

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：なし

3 開催日時：平成24年12月2日（日） 13時00分～18時00分

4 開催場所：日本学術会議講堂

5 開催趣旨：

平成24年9月11日に原子力委員会に提出した「高レベル放射性廃棄物の処分に関する回答」は、手交に至る前から大きな社会的関心を呼び、原子力発電の是非をめぐるバックエンド問題として極めて重要な課題であることが浮き彫りになった。高レベル放射性廃棄物の処分は、原発を存続するないし廃止するに関わらず、対処しなければならぬ問題であり、これまで先送りされてきたこの問題について、上記原子力委員会への「回答」をベースに多様な立場からの議論をシンポジウム形式で実施する。

6 参加人数：

講演者等：9名

その他の参加者：約250名

7 特記事項：

①事前の参加申し込みが広報開始直後から順調にあり、募集定員超過となるなど、テーマへの関心の高さがうかがえた。

②パネルディスカッションの際に、来場者との質疑応答の時間を設けた。（質問票へ記入して頂き、それについて回答するという手法をとった。）質問数が多く、かつ内容が多岐にわたり、時間が足りなかったが、テーマへの関心の高さがうかがえた。